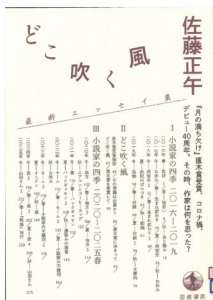


～ 児童書 ～



『イチからつくる蚊とり線香』
編：湯澤 規子、飯尾 裕光
絵：赤池 佳江子
発行：農山漁村文化協会

～ 一般書 ～



『どこ吹く風』
著者：佐藤 正午
発行：岩波書店

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館

◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで

【須木分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 9時～17時

【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで

毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

『図書館でピクニック気分を楽しもう！』

参加
無料

ブッ ク ピクニック
BOOK PICNIC



◆日時

9月12日（土曜）14時30分～16時30分
※14時30分までに集合してください

◆場所 野尻庁舎2階大会議室前

◆定員 10組（30人程度）

◆内容①おはなしの時間

図書館職員による「えほんのよみきかせ」

◆内容②読書の時間

「本のおべんとうをあけてみよう」

◆内容③あそびの時間

「カラカラつまき」「布えほん」「紙コップ
タワー」「ぱちぱちくまさんを作ろう」

●申・問＝野尻分館 Tel 44-1100（代表）
（内線 273）

国際交流員 ロバートのヨラム

「2年目を振り返って」

●問＝地方創生課 Tel 23-1148

8月で私が小林市の国際交流員として働き始めて3年目に入ります。さまざまな出来事があったこの1年間で、少し振り返ってみたいと思います。

去年の夏は、刺激的な毎日でした。小学生向けイベントの翌日にはタイへ旅行に行き、ビーチやお寺巡りでリフレッシュ。帰国後は滋賀県へ出張し、ドイツ語の翻訳・通訳講座を受講しました。研修所の近くには琵琶湖が広がり、まるで海のような景色に感動しました。

その後すぐ、宮崎市で合宿を行っていたドイツ陸上競技連盟代表チームの通訳として青島へ向かいました。10日間にわたり、競技場でのサポートや打ち合わせの補助などを担当。「そのやりは飛行機に持ち込めない」といったトラブルもありましたが、日本語とドイツ語で人の役に立てる喜びを感じ、充実した時間を過ごしました。

秋はドイツ語講座や多文化共生イベントに取り組み、冬には1年半ぶりにドイツへ帰国しました。



家族や友人とクリスマスをお過ごし、改めて日本とドイツの日常生活の違いに気付かされました。年末には日本に戻り、年越しはこちらで。ドイツのようなパーティーや花火で賑やかに過ごす年越しも好きですが、家でのおんびり時差ボケを治すお正月も悪くないなと思うようになりました（笑）。

2月には札幌市の雪まつりを楽しみ、4月には鹿児島や都城でオーストリア大使館の方々の通訳を支援しました。仕事でもプライベートでも、日本のさまざまな場所を訪れる機会に恵まれ、とても幸運だと感じています。

こうした経験に恵まれることも、決して当たり前のことではありません。感謝の気持ちを胸に、3年目も引き続きよろしく願いいたします。